

# INDIE'S= MOVIEレポート

CINESALAD PRESENTS

10月7日 3大上映会レポート  
10月7日は上映会の当たり日だったので、場所をちがえて3つの上映回が行われました。ぜんぶみにいったスタッフはおお忙し。(もったいないから日を分けてやればいいのに。)では、3段重ねの重箱レポートをどうぞ。

## チェコスロバキア・アニメ映画祭90 - 10月6日・7日

### 「笑いと幻魔の狩人たち」

会場は、141ビル6Fの「エルパークビル」に入ります。まず、満員に近い客の入りかぎ。上映作品はAブロック、Bブロックに分けられ、私は、時間の都合でBブロックしか観られなかったが、関係者の話では、Bブロックがオススメだったようだ。さて、アニメというと、セル画アニメを連想しがちだが、1本目の作品は、人形アニメだった。「ライター」(ダダマル・ドップコヴァー作)という作品で、内容は、「ふしぎなライターで3匹の魔法の犬を飼い、お姫様と結ばれた騎士のおとぎ話」である。これは、人形の顔がコワイのが印象的、はつきり言って無気味だった。他のセル画作品もそうだったが、チェコのアニメキャラの原はコワイ!



娘、夫と子供達を殺し、朝食をとらせ、急いで町工場へ働きに出る。そこでは上司にこなされるが重労働、落ち込むヒマもなく、少女の気持、家族に食事をとらせ、子守をしながら寝たが、そして、洗濯をさせ、はしゃぐ子供達を寝かしつけ、今と床に入る。夫とは、朝も夜も眠りなみである。彼女は多岐にわたる多岐な毎日を送る。共感の笑いは、共感派でも変わらないのか?という笑いを窺った。  
2本目は「遺棄されたアラバ」(イジ・バルタ作)人形アニメ。発端に捨てられたマネキンが動き出し、規則的な生活をおくる。やがて新しいマネキンが数体運び込まれ、マネキン同士の争いが起こる。この作品は、画面のトーンが茶系で、写実的な印象が強い。ストーリーは単純だが、マネキンの動きが無気味で、「アバンギャルド」という言葉のイメージがぴったりだった。  
以上、特に気に入った作品を紹介したが、この日みた7本は、どれも好評で、大変勉強になった。  
文責/渡邊

## 昭和ノワール超8 (スーパー8) レポート

去る8月3日、山形市中央公民館大ホールにおいて東北8mm映画上映会「昭和ノワール超8 (スーパー8)」が開催されました。山形大学映画研究会の呼び掛けで集まった東北(上)の7サークル12作品を8時間に渡って一挙上映。なかなか大変なイベントではありましたが、会場は大ホールというくらいで600人収容の巨大なもので、並の映画館よりデカイスクリーン。音響と相まって大迫力で観客のみならず集まった他サークルの方からも一様に「おお」と感嘆の声が上がっていました。  
当日までにはポスター作成、新聞掲載、ラジオ、テレビ出演等のPR活動もかなり行い、一部で大変好評を博したような気がします。なにしろ初めての試みだったので各方面のやり合いがあわず苦労しましたが、当日は参加サークルの方々にはほぼ全員来ていただき、大変盛り上がりました。  
最終的に約300人程の入場がありました。これは、場上で挨拶した私の印象としては「ジジいばかりでやんの」というもので、やはり8mmは昭和のメディアであったのだなという感を感じたのでした。上映された作品はSFありコメディありと大変バラエティに富んでおりました。もっと実験的な作品もあるかなと思ったのですが、かなりクオリティの高いものばかりで素晴らしい上映会になったと自負しております。また終了後、打ち上げも行いましたがこちらの方はほとんどのサークルが時間の都合で参加していただけなかったのが残念ではありましたが、私大東大と、うち山形大の合コンもなかなか盛り上がりこういふのも良かったのではないかと思います。  
この企画が上がってからのというもの、途中でエクタクローム生産中止もあって本当に皆さんの大学に手紙を出し、また直接お電話させていただきたりと走り回ってやっとこ開催したイベントでしたが、東北8mmのサークルの合同上映会という多分東北初の企画を手掛けたという至福感と共に8月3日は過ぎていったのです。  
次は仙台でやりませんか、ね。  
(文責 山形大学映画研究会 設立第一)



- 付録  
参加サークル作品一覧
- 山形大学映画研究会 「Belting-この広い空の下」
  - 新潟大学映画倶楽部 (C・F・C) 「さいつきとりもどせ」「ロボソー」
  - 弘前大学映画研究会 「かしのめ」
  - 福島大学映画研究会 「LET IT BREED」「DRIVE」
  - 宮城教育大学映画研究会 ZOOMY 「単位をねらえ!」「コアラのマーチ」「アジッドハンター」
  - なぜか埼玉大学映画研究会 「優等生」
  - そして山形大学映画研究会 「F・O-フェードアウト」 「イミテーション-虚飾の迷宮」
- (思い出し頃)  
パンフは品切れでしたので、スィマセン  
ちなみに「昭和ノワール超8」というタイトルの由来は8mmが昭和のダークサイドのメディアであったということ、すごい8mm映画、そして清えたコダックエクタクロームへのオマージュということのミックスです。  
ところで山大映画の新作「無法思想」11月1日発表だそうです。



作品として観るを意図しない、最も個人的な映像に発表の機会を与えよう。このようなコンセプトで発足した「陽の当たらない映像作家に際する会」が、7日の上映会を終え、決して想像できない現状に目を凝らしている。多大の努力を惜しまず作品を出品して下さい。た方々にお呼び申し上げます。シネマラジの開催から上映会のレポートを依頼されたのだが、数多くの困難及び、反響点を踏まえる必要を痛感し、より適切なコンセプトに近づけていきたい、としか言えないのです。私も一念発起して作品に取り掛かりますので、多くの方よりお問い合わせをお願いします。  
最後に、「上映会まであったのだが機種のトラブルで上映できなかった前野君に、この紙面を借りてお詫言いたいと思います。  
第2回「陽の当たらない映像作家に際する会」  
於 AMS西武8階 AMSスタジオ ノミのサーカス観客席  
出品者(敬称略) 岸田清史、伊藤利枝、原誠、土井佳、田嶋くん  
主催 大宮明典(幹事兼編集)

### 陽の当たらない映像作家に際する会

10.3  
10.7  
NOMI  
SARAS  
1990

抽足ノ上映作品は実験的なものから傑作作品までといったところ、アムスタジオは小さくてあまり人数は入れませんが、そのぶん1本ごとの合間にはさまれる司会兼映写技師さんの語りが良い味だして、なんか、いい上映会でした。

### 彗星2

10月7日  
交流ホール

### 自主制作アニメーション上映会 『彗星フィルム』

SUSEI-FILM 2

こちらは第1号でも紹介した彗星フィルムの第2段、いろんな作品が出品されていましたが、私は北海道から出品されていた、「約束」という作品が気に入りました。(タイムトラベルもので、ほかほかんだ、これが。)宇野高校のペーパーアニメ「スーパーランナー」は、オープニングのオリジナルのテーマソングがいいこれはもう!(お聞かせできないのが残念。)文化センターは、設備もいいし、作品もなかなかそろっていい、楽しめました。ただ、観客が余りいなかったの、もう少し宣伝が必要なんだろうとも感じました。うーん、上映会って難しい。

### 映像天国 オフシアターシネマ倶楽部

アマチュア自主制作映画

#### 自主制作映画作品及び会員大募集!

君の自慢の作品がなんとビデオ化! めざせアマチュアの巨匠!! マニア、アマチュア、サークル、自主制作映画に興味のある方、今がチャンス。入会無料です!  
送って頂いた作品は、オフシアターシネマ倶楽部が審査をして、ビデオ化を決定します。  
選定委員には「東京国際ファンタスティック映画祭」プロデューサー・小松沢陽一氏。

#### 第一弾 オフシアターシネマ倶楽部8ミリの巨匠たち!!

8ミリ黄金狂時代 10月中旬販売予定 会員価格¥3,800円より

 監督・塚原晋也 8ミリ作品(カラー30分) 製作・海獣シアター "鉄男"の原点はこれだ!! (悪魔サイズの怪人)	 監督・前島誠二郎 8ミリ作品(カラー47分) 製作・SHOOTシネマ企画 "カットリッパ"変態ホラー (ドラック演歌1991)
 監督・風間志織 8ミリ作品(カラー107分) 製作・Reverle "なれか3番になつていひと" (Majodles)	 監督・美藤久志 8ミリ作品(カラー135分) "度々ぶちだつて女の子達" (ふたつくり)

セントラル商事  
フリーダイヤル ☎0120-006164  
本社  
東京都板橋区大和町13-10  
☎03-961-6464 FAX03-961-6163  
オフシアターシネマ倶楽部事務局  
埼玉県大宮市湊作3-9-2  
☎048-687-4520 FAX048-687-4521